

キャッシュフロー経営・会計 —基礎から学ぶ—

クラス
コード **61A43**

*この講座の申込締切は、5月31日(金)です。

曜日時間 土曜9:00~16:20
昼休み 12:10~13:10

受講料 26,400円

定員 20名

単位 2単位

概要 日本の企業には今、経営管理における経済性・効率性が強く求められています。経済的意思決定はキャッシュフローの考え方を基本にして行います。この講座では、有効なコスト削減の考え方、原価改善や生産性向上のためのコストデータの使い方、有利な製品や生産物流の方法の選び方、設備投資や事業選択、限られた資源の有効な配分などの意思決定の問題をケーススタディから学びます。キャッシュフロー経営の考え方を基本から分かりやすく、教室のパソコンを使って演習をしながら説明します。

講師 香取徹

獨協大学教授 専門/管理会計
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)。中央大学大学院アカウンティングスクール、立教大学大学院ビジネススクールなどをはじめ企業・団体などで社会人を対象とした生産性、原価管理、キャッシュフローなどのセミナーを担当

テキスト 意思決定の管理会計—キャッシュフローで考えよう!—改訂版(香取徹著/創成社) 2,200円+税 *電卓をお持ちください。

内容 6月22日~7月6日(全12回/1日4回)

- | | | | |
|---------|-------------------------|--------|----------------|
| ① 6月22日 | 意思決定のプロセス キャッシュフローで考えよう | ⑨ 7月6日 | 資金には時間的な価値がある |
| ② | 受注案件の選び方 | ⑩ | 投資案を作ってみよう |
| ③ | 黒字倒産 赤字製品と黒字製品どっちが儲かるか | ⑪ | この設備投資は採算が取れるか |
| ④ | 取替か継続か 減価償却 | ⑫ | 不確実な場合の分析は |
| ⑤ 6月29日 | 生産性のカイゼン | | |
| ⑥ | 在庫が増えると利益が増える | | |
| ⑦ | 金額か率か、どちらで選ぶか | | |
| ⑧ | 案件のタイプ、独立・排反案 | | |